

ハーせんぱいへ

とっぜん、手紙なんこどうしたんだと思うかも
しれませんがね。普段はなかなか恥がかしく
て言えないのですが、いつも感じている感謝
の気持ちを一度ちゃんと言えたくて書いてい
ます。

僕が日本に来て、この会社で働き始めたばかり
の時、正直、本当に毎日不安でした。
仕事も日本語も、またまたで。。。

今だから正直に言いますが、せんぱいはたく
さんのことを教えてくれましたよね。ただ、
あの頃の僕は日本語が本当に下手で、実はた
ぶん半分も分かっていませんでした。分かつ
たふりをして元気に「はい！」と答えていた
こと、本当にごめなさい。でも、僕が一番
ありがたうと伝えたいのは、まさにその部分
なんです。僕がそんな状態でも、せんぱいは
一度もいやなことをしたり、怒ったりしませ
んでした。僕が心から感謝しているのは、

教えてくれた知識以上にその時のせんぱいの
やさしさと態度です。

うまく言えませんが、せんぱいは全然偉そう
にしませんでした。いつも自然で、それが僕
にとってはおごくうれしかっただけ。たか
僕も、変にぎんちゅうしないで、分か
ることを「すみません、これ。。。」「って聞き
やすかったです。

せんぱいを見ていて、僕なりに分かったこと
があります。本当のやさしさって、たぶん、
仕事を教えることだけじゃない。僕の様々な
こうはいが安心して働ける場所を作ってくれ
ること。それが一番のやさしさなんかなって
思いました。ことはたけではなく、せんぱい
のおかたかたがそれを学びました。

僕はまがまがですが、人としてせんぱいみた
いの人になりたいです。そしていつか僕にこ
うはいができたら、せんぱいが僕にしてくれ
たみたいに僕もそのこうはいに接してあげた
いです。

いっも、本当にありがとうございます。

父フマ。